河内長野市三日市小学校区情報紙　　令和４年２月１５日

味（み）　香（か）　一（いち）　だより　No.１３

発　行：三日市小学校区まちづくり協議会
協　力：河内長野市自治協働課

みんなでつくろう 味・香・一（あじ・かおり・いち）のまち

青色防犯パトロール スタート!!

令和３年１１月２９日から青色防犯パトロール車、通称「青パト」による活動が始まりました。子どもたちの安全と地域の防犯のために活動していきます。

三日市小学校区にも念願の青色防犯パトロール車、通称「青パト」を導入することができました。

令和３年１１月２７日（土）にコロナ禍のため参加人数を縮小して、譲渡式・委嘱式そして出発式を開催しました。２９日（月）からパトロールを実施しています。主に小学生の登下校時間帯に運行していますが、年末には歳末パトロールとして地元自治会と一緒にパトロールもしました。

今後は自治会や各団体と共にイベント等にも青パトを運行していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「将棋大会」

11月27日（土）に三日市小学校で行われた『将棋であそぼう』では、子どもたちの真剣に取り組む姿が見られました。今年はコロナ禍ということもあり初心者と経験者という形で教室をわけて行いました。初心者は駒の動かし方から教えてもらい、友だちや保護者の方と将棋をさしました。経験者の子どもたちには詰将棋をしてもらいました。レベルが少しずつ難しくなっていく中、大人でも「ん？」と考えるような問題もさすが経験者の子どもたちは解いていました。子どもの頭は柔らかいですね。

（ふれあい部会長　山本亜矢子）

三日市小学校行事への協力

５年生の烏帽子形城跡保全活動

三日市小学校区には戦国時代に使われた山城の跡である国の史跡「烏帽子形城跡」があります。この史跡の魅力を伝えるために11月24日現地学習を開催し、児童たちは山城内にある攻略ポイントを目指しました。戦国武将に扮した、まち協はじめ地域の方々が出すクイズをクリアしながら、宝さがしや清掃をしました。これらの体験を通じて、地域の文化財を自らで護り伝えるということを学びました。

（河内長野市教育委員会）

「三小っ子てくてくウォークラリー」

毎年、子どもたちが楽しみにしている「三小っ子てくてくウォークラリー」。晴天に恵まれた１２月３日にまちづくり協議会のみなさんをはじめ、三小ＰＴＡのみなさん、学校運営協議会の委員の方々、多くのみなさんの協力のおかげで、開催することができました。途中、シールをもらったり、じゃんけん勝負や旧三日市交番の見学など、いろんな工夫があり、子どもたちは大喜びです。楽しいウォークラリーになりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

（三日市小学校校長　北野良和）

講演会「河内長野の日本遺産」

講　　師　　河内長野市教育委員会職員
日　　時　　令和４年３月６日（日）１３：３０～１５：００
会　　場　　三日市市民ホール（フォレスト三日市３階）
定　　員　　８０名（先着順）
申し込み　　当日直接会場へ（受付開始１３：００～）

※マスクの着用をお願いします。

脈々と続く三日市

高野街道で名高い三日市ですが、近代になってからもその歴史を積み重ねてきました。
その一部を紹介します。

「三日市郵便局　開局 150 年」

三日市郵便局長　八木　久史

当局は明治４年 12 月 25 日開局で、郵政創業と同じ年の開局となります。

局が置局された三日市村は、古くから大阪と和歌山（高野山）の往来があり、江戸時代には高野山へ参詣する方の高野街道の宿場町でありました。局周辺には屋号を持つ旧家も点在しており、昔の面影を一部残しているところもあります。

当局は、現在の場所ではなく三日市村番外一番地に三日市郵便取扱所として開局しました。今橋仁平氏が初代局長に任命され、三日市村庄屋の三並氏（南氏）と共に郵便制度の普及に尽力されました。そして現在９代目まで継承されております。

「大阪でただひとつの木造旧交番」（河内長野市指定文化財）

かつては地域の治安維持に役割を果たし、現在は地域住民の交流の場として活用されている旧三日市交番ですが、大正 10 年(1921)に三日市駐在所として現在地に移転して本年 100 年を迎えました。また、昭和 27 年(1952)に従来の建物を基本に改築され今日を迎えています。その後、三日市町駅前開発により三日市交番が三日市町駅前に移転、建物は「旧三日市交番」として保存修理が加えられ大正時代(大正 10 年)の姿が再現されました。平成 24 年(2012)8 月 22 日に地域の歴史・文化の情報発信拠点として一般公開されてから 10 周年を迎えます。

記念事業を計画していますので、詳細が決まればお知らせします。

みなさんごぞんじですか

三日市地区「教育の聖地」雨山の森（正法寺跡）

奈良時代の「行基」ゆかりの「雨山の森」にあった正法寺で地域初めての「寺子屋」が開塾されたのは江戸時代です。

その後上田小学校が開校され、昭和 10 年三日市小学校と改められました。昭和 29 年三日市幼稚園が併立されました。

この場所は寺子屋教育から始まり約 210 余年もの長期にわたり地域教育の場として歩んできました。ここで学んできた人々は、この場所「雨山の森」を「教育の聖地」として大切にしてきました。そこで三日市の教育の変遷と沿革を永く記録にとどめるために令和３年３月に看板が設置されました。変遷の詳しい内容は看板をご覧ください。

三日市幼稚園（休園中）
正門横の看板

令和３年度総会について

三日市小学校区まちづくり協議会では例年５月に総会を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令中により、昨年に引き続き書面審議といたしました。本会の賛同団体である町会・自治会、各種団体、個人会員の皆さまからはご承認の回答をいただきました。

役員名簿	
会長	大原 栄子
副会長	山口 親房
副会長	戸川 惠嗣
副会長	山田 淳子
書記	水谷 邦子
書記	藤原 秀一郎
会計	井上 重昭
理事	細川 泰浩
理事	河﨑 和子
監事	大友 孝則
監事	遠藤 岩三郎
相談役	竹鼻 良介
部会長	多井中 謙次郎
部会長	山本 亜矢子
部会長	岸田 雅幸

（令和３年度総会～令和５年総会）

多聞丸こぼれ話

誕生秘話と幼名「多聞丸」の由来

大阪と奈良の境に信貴山「朝護孫子寺」（ちょうごそんしじ）があります。本尊・毘沙門天は「子孫長久（一族の子孫が代々長く久しく続く）」の祈願所であり、楠木正成の母はこの寺に１００日間の参詣をし、生まれた子宝が正成です。

正成は幼少期「多聞丸」と呼ばれていましたが、毘沙門天の別名が「多聞天」で、多聞天像は甲冑姿で左手には宝塔、右手に宝棒を持ち、武士にふさわしいとの思いで幼名を「多聞丸」と名づけた、と太平記に書かれています。

団体会員コーナー

三日市地区民生委員児童委員協議会

三日市地区は、民生委員・児童委員 20 名と主任児童委員 1 名の 21 名で構成されています。

近年各地域とも高齢化が進んでいるため各委員間での連携を密に情報を共有化し活動を進めています。例えば、地域の関係団体と一緒に登下校時の見守り活動、子育て支援、独居・高齢者への友愛訪問、身近な地域での相談を受ける役割を担って活動しています。

今年４月からは、社会福祉協議会が移転したイズミヤ４階（ゆいテラス）にて会議を行っています。会議では、地区委員長会議の内容の発信と各部会（高齢者部会・児童部会・広報委員会・主任児童委員）から報告があり情報を共有しています。また各委員のスキルアップのため、地区の研修会（市の出前講座）、府・市民児協議会主催の研修会にも参加しています。

これからも地域の自治会、福祉委員会、老人会と連携をとりながら、地域福祉の向上に貢献したいと思います。　（委員長　寺前公雄）

民生委員・児童委員のマーク

♡団体会員募集♡

当協議会を構成する団体を募集しています。（企業・お店・市民活動グループなど）

♡地域情報募集♡

情報誌「味香一だより」に載せる地域情報を募集しています。《活動予定・報告》《会員募集》など、校区の皆さんへお知らせしたいことがあればご連絡ください。

連絡先：（会長）大原 栄子　電話 0721－63－7610　携帯 090-5047－8754